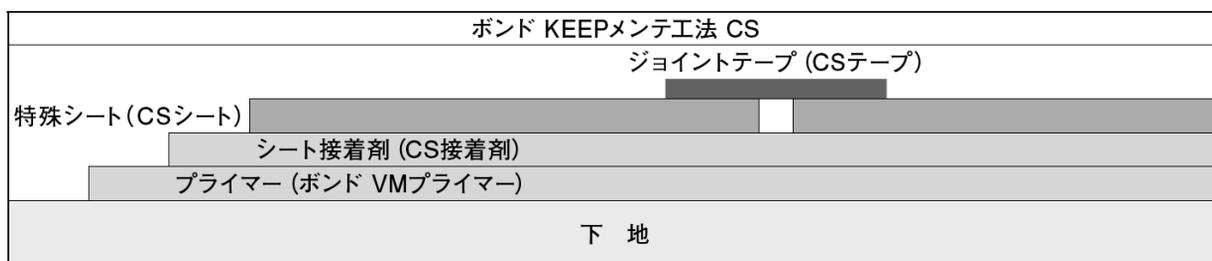


# ボンドKEEPメンテ工法 CS

## 可視型コンクリート片はく落防止シート工法

### ① 概要

「ボンド KEEPメンテ工法 CS」は透明フィルムとビニロンネットを複合した特殊シート(CSシート)をエポキシ樹脂ではり合わせる透明はく落防止工法です。特殊シート(CSシート)をはり合わせるにより、安定したはく落防止層を有し、作業工程の短縮も可能となりました。また、仕上がりは可視性があり、施工後の下地コンクリートの変状を容易に目視確認することが可能となります。

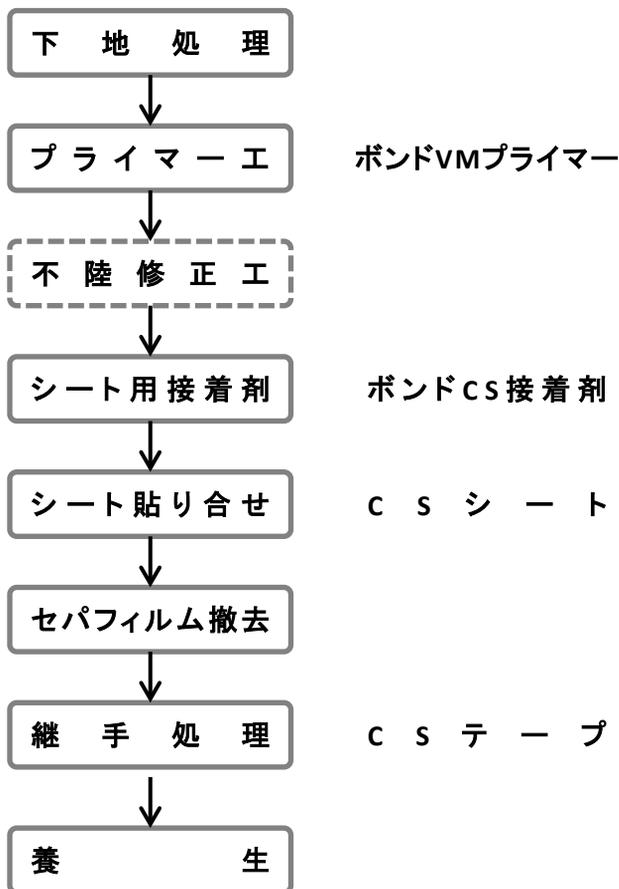


### ② 特徴

- 使用可能温度域が $-5^{\circ}\text{C}$ ~ $40^{\circ}\text{C}$ と広いので、季節ごとの材料の切り替えが不要です。
- 硬化皮膜に柔軟性を付与していますので、ひび割れ追従性に優れます。  
また、 $-30^{\circ}\text{C}$ ~ $50^{\circ}\text{C}$ まで優れた押抜き強さが得られます。
- 低粘度のプライマーを使用しているため、コンクリートへの含浸性能に優れます。  
また、プライマーは1液型のため混合の手間が省けます。
- 特殊変性ポリウレタ樹脂は表面の硬化が速いため、施工後の降雨、結露に対し抵抗性が期待できます。また、環境温度によっては当日内に仕上材の塗布も可能です。また、環境温度によっては当日内に仕上材の塗布も可能です。

### ③ 施工方法

#### 使用材料



### ④ 積算

お手数ですが、お問い合わせください

[info@ni-imo.jp](mailto:info@ni-imo.jp)

可視型コンクリート片はく落防止シート工法

# ボンド KEEPメンテ工法 CS

「ボンド KEEPメンテ工法 CS」は透明フィルムとビニロンネットを複合した特殊シート（CSシート）をエポキシ樹脂ではり合わせる透明はく落防止工法です。特殊シート（CSシート）をはり合わせることで、安定したはく落防止層を有し、作業工程の短縮も可能となりました。また、仕上がりは可視性があり、施工後の下地コンクリートの変状を容易に目視確認することが可能となります。

■用途

- コンクリート片はく落対策工事（可視型）

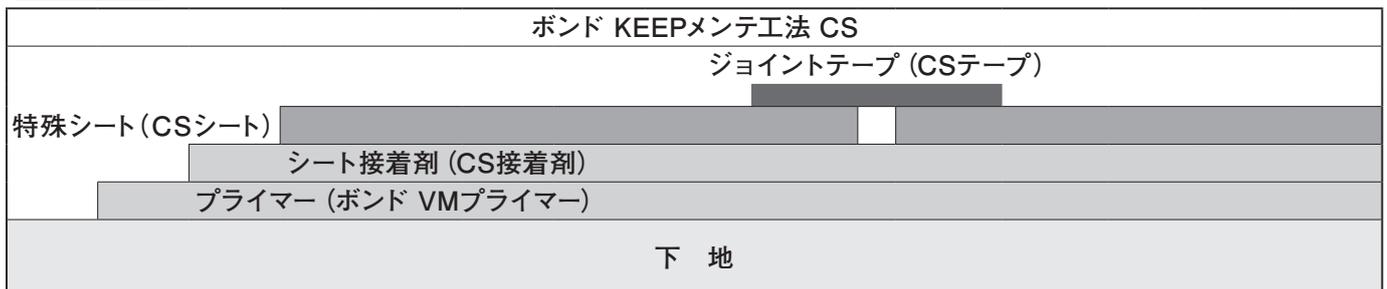
■特長

- 特殊シート（CSシート）に接着剤が含浸することにより下地コンクリートの可視化を実現します。
- 特殊シート（CSシート）をはり合わせることで、安定したはく落防止層を有します。
- 特殊シート（CSシート）をはり合わせる為、省工程化と施工日数短縮を実現します。
- 低粘度のプライマーを使用しているため、コンクリートの含浸性能に優れます。また、プライマーは、1成分型のため混合の手間が省けます。
- 優れた押抜き性能を有します。（1.5kN以上 JSCE-K 533 2013）

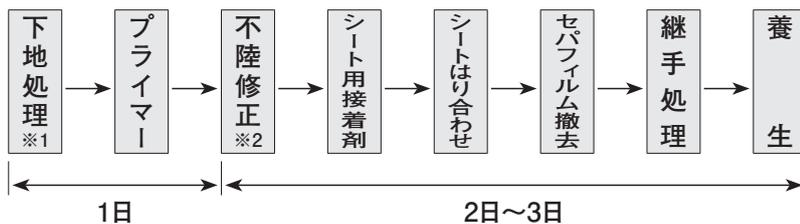
■施工内容

工程	使用材料	塗布量/㎡当り	工程間隔	備考
下地処理	ウォータージェット、サンダー掛け等。清掃、不陸、目違い部事前修正。			
①プライマー	ボンド VMプライマー	0.12kg	16時間～3日	ローラー
②シート接着剤	ボンド CS接着剤	0.50kg	直後～40分	金コテ ゴムべら
③特殊シート	CSシート	1.00㎡	16時間～	ゴムコテ ゴムべら
④ジョイントテープ	CSテープ	1.00m		—

■施工仕様  
(標準工法)



■施工例



※1：ウォータージェット、サンディング処理等。断面修復、ひび割れ補修等は別途。  
 ※2：下地の状況により省略可能。

■技術データ

1. 押抜き試験結果

東日本・中日本・西日本高速道路株式会社 構造物施工管理要領 3-7 はく落防止  
 JSCE-K 533-2013「8. コンクリート片のはく落防止に適用する表面被覆材の押抜き試験方法(案)」に基づく

供試体No.	コア削孔長 (mm)	変位10mm以上における 最大荷重Pi (kN)	荷重Pi時の変位 (mm)	はく離範囲 (mm)	基準値
1	54.2	2.8	33.0	240×260	変位10mm以上における 最大荷重が1.5kN以上
2	55.1	3.0	35.8	240×260	
3	56.1	2.6	34.6	210×260	
平均値	—	2.8	—	—	

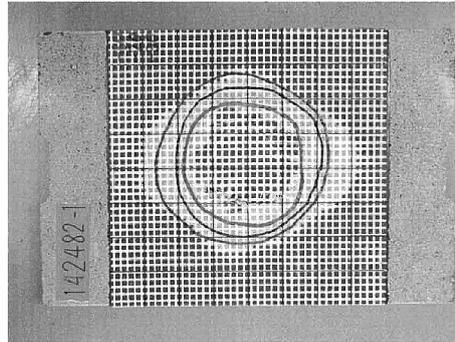


写真1. 試験終了試験体

2. コンクリートとの付着強度試験結果

東日本・中日本・西日本高速道路株式会社 構造物施工管理要領 3-6 コンクリート表面保護  
 表3-6-1 コンクリート表面被覆の性能照査項目

供試体No.	付着強度 (N/mm <sup>2</sup> )	主な破断場所	基準値
1	2.7	基板の凝集破壊	塗膜とコンクリートとの 付着強度が1.0N/mm <sup>2</sup> 以上 であること
2	2.3	基板の凝集破壊	
3	2.8	基板の凝集破壊	
平均値	2.6	—	

■使用材料

工程名	製品名	主成分	混合比 主剤:硬化剤	容量
プライマー	ボンド VMプライマー	硬質1液型エポキシ樹脂	—	4kg
シート接着剤	ボンド CS接着剤	硬質2液型エポキシ樹脂	2:1	15kgset
特殊シート	CSシート	ビニロン繊維 ポリエステル繊維不織布 無黄変ウレタンシート	—	幅:1,000mm 長さ:30M
ジョイントテープ	CSテープ	無黄変ウレタンフィルム	—	幅:130mm 長さ:10M

国際単位系(SI)による数値の換算は、1kgf=9.8N、1cP=1mPa・s、1kgf・cm=9.8×10<sup>-2</sup>J、1MPa=1N/mm<sup>2</sup>です。  
 1N/mm<sup>2</sup>は約10.2kgf/cm<sup>2</sup>に相当します。

本資料の技術情報、標準処方例は当社の試験、研究に基づいたもので、信頼しうるものと考えますが、記載の諸性能および諸特性などは、材料や使用条件などにより本資料と異なる結果を生ずることがあります。実際の諸性能、諸特性などについては、ご需要家各位で試験、研究ならびに検討の上、ご使用いただきますようお願いいたします。

**コニシ株式会社** <http://www.bond.co.jp/> 大阪本社 / 〒541-0045 大阪市中央区道修町1-7-1(北浜TNKビル) TEL06(6228)2961  
 東京本社 / 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町2-3(竹橋スクエア) TEL03(5259)5737

名古屋支店 TEL052(217)8624 札幌支店 TEL011(731)0351 高崎営業所 TEL027(324)3002 高松営業所 TEL087(835)2020  
 福岡支店 TEL092(551)1764 仙台営業所 TEL022(211)5031 金沢営業所 TEL076(223)1565 沖縄営業所 TEL098(884)7521  
 横浜支店 TEL045(514)2450 栃木営業所 TEL0285(43)1511 広島営業所 TEL082(507)1911